



愛知県社会保険労務士会 知多支部だより

2020年(令和2年)第74号



←イオンモール常滑

パワードーム半田→





新年のご挨拶

半田労働基準監督署長

鳥居 粧 滋

明けましておめでとうございます。

新年を迎えるに当たり、愛知県社会保険労務士会知多支部の皆様にご挨拶申し上げますとともに、日頃より労働基準行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、当局の最重点課題である「働き方改革を進める中小企業等に対する支援」の取組みとして、魅力ある職場づくりを目指した「働き方改革」の円滑な実現のために提案した、働き方改革を通じた人材確保対策となる「A I C H I W I S H 事業」、「R P A」、「勤務間インターバル制度」、「愛知働き方改革推進支援センター」利用勧奨に関し、多大なるご支援頂いたことに感謝申し上げます。

本年4月からは、中小企業に実施される時間外労働の上限規制、パワハラ防止法及び同一労働同一賃金等の施行が予定されていることから、引き続き、その取組みが促進されるよう支援してまいります。

当署管内の労働災害の発生件数については、11月速報で、死亡災害は5件と前年同期比で-3件37.5%減、死傷災害は443件と前年同期比で-49件10.0%減の状況にあり、3年連続で増加した昨年の死傷災害がようやく減少傾向に転じたことに安堵しています。労働災害の防止については、第13次労働災害防止計画に基づき、一層の死傷災害防止に取り組むとともに、引き続き「論理的な安全衛生管理」の考え方を踏まえた効果的な対策の樹立について普及定着に努めてまいります。

労災保険給付については、高水準で推移する過労死等事案及び石綿関連疾患等調査に一定の期間を要する事案についても引き続き迅速・適正な給付に努め、労働者のセーフティネットの役割を果たすよう努めてまいります。

このように多くの課題がありますが、本年も「安心して、健康で、安全に働ける職場づくり」のため、働き方改革を通じた人材確保対策、労働災害防止対策、労災保険の適正給付に取り組むこととしていますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、貴支部並びに会員の皆様の益々のご多幸とご繁栄を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

半田公共職業安定所長

山崎 孝義

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様には、日頃からハローワーク半田の業務推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進み、非常に厳しい人手不足が生じている中、働き方改革の実現は、我が国の社会経済を大きく左右する喫緊の最重要課題です。

ハローワークでは、企業が自ら積極的に働き方改革を推進し、魅力的な職場を作っただけで、多様な人材を確保して人手不足の克服につなげていただけるよう、平成30年6月より愛知の独自事業であるA I C H I W I S H事業を実施してまいりました。

働き方改革法が順次施行されることを踏まえ、本事業の認定申請の期限を令和2年9月30日とし、支援期間は令和3年3月31日までとしてこの事業を終了しますが、ハローワークとしましては、今後、独自の企業支援を展開していくこととしておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

また、本年1月6日から、ハローワークのサービスをより利用しやすくなるように、ハローワークインターネットサービスの機能を充実するなどして、ご利用の皆さまのニーズに応じたサービス提供を行える環境を整備しました。

これまで以上にお仕事をお探しの方に対する職業相談、人材を採用したい事業主の方に対する支援サービスを展開していきますので、是非ハローワークをご利用ください。

地域に密着したハローワークサービスの向上に努め、「ハローワークを利用して本当に良かった」と喜んでいただくため、信頼され、愛されるよう全力で頑張っております。

愛知県社会保険労務士会知多支部会員の皆様には、本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、貴支部の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

日本年金機構 半田年金事務所長

村松 利枝子

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃より年金制度の円滑な事業運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本年金機構は平成22年1月に発足し、早いもので10年が経過しました。

この間、皆様には、公的年金事業の円滑な運営に対し、ひとかたならぬご理解とご協力をいただき、改めて厚く御礼申し上げます。

当機構が扱っている公的年金制度の規模は、人数ベースで被保険者数は約6千7百万人、年金受給権者は約4千万人と、あわせて1億人を超えております。

金額では、徴収している社会保険料は年間約35兆円におよび、この規模は平成30年度の所得税と法人税の合計31兆円を上回る額であります。また、お支払いしている年金支給額は年間51兆円を超え、これは我が国の名目GDP550兆円の約1割に近い額であります。

まさに、人生100年時代を見据える我が国にとって欠くことができない社会インフラであり、公的年金制度の安定的かつ確実な運営なくして、我が国における社会の安定はないと言っても過言ではありません。

本年度は、4月の改正出入国管理法の施行に伴う外国人労働者の特定技能制度への対応のほか、この10月には年金生活者支援給付金の制度が施行されるなど、極めて社会的影響が大きい制度改正が行われています。

機構のこれまでの取り組みによってもなお、公的年金制度への関心・理解が希薄である方々や我々の声が届いていない方々のために、本年度4月からの5年間の第3期中期計画期間を「未来づくり計画」と位置づけ、国民を向いた直接的なアプローチにより、お客様の安定した生活や安心を実現するための取り組みを進めてまいりたいと考えています。

引き続き、皆様とより一層連携を強化し、年金制度の円滑な事業運営に努めてまいりたいと考えておりますので是非お力をお貸しくださるようお願いいたします。

貴支部の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

支部長 伊藤 政 則

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、知多支部会員の皆様には、支部活動に対して格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。さらに、関係団体の皆様にはいつも変わらぬご高配をいただき深く感謝申し上げます。昨年4月15日の通常支部会において、知多支部長に就任させていただき、早いもので、約8か月が経過しました。至らぬ点が多いかと存じますが、引き続き支部運営について、最大限の努力をしておりますので、よろしく願いいたします。

昨年を思い返すと国際的にも国内的にも重大な出来事が数多く起こりました。特に国内においては、5月1日より元号が、「平成」から「令和」へ改元し、新たな時代の幕開けとなりました。特に「少子高齢化」による人手不足の拡大、「働き方改革」、「AI」の活用と、社会はめまぐるしく変化しています。このような時に、我々「社会保険労務士」はこれをビジネスチャンスに変えてさらに邁進していきたいと思っております。

知多支部においては、昨年度より、支部組織の活性化と発展を目的として、支部の基本方針を、次のように定めて推進しています。

まず、第1に、支部幹事制度の見直しとして、本会部員と支部幹事の連携ができるような体制としました。そして、参加型の部会制度として、支部幹事の全員が総務部、研修部、広報部の3部会の1つの部会に所属することとしました。支部幹事会の中で、各部会を開催して、グループ討議を行い、支部行事の活発な議論と参加意欲の向上に努めていきます。

第2に、知多支部ホームページの新設と有効活用を行い、支部行事についての連絡、議事録等の掲載により、支部活動の「効率化」、「見える化」等を高めてまいります。

第3に、活動内容自体の見直しと財政の健全化について、検討を行ってまいります。従来のいろいろな支部行事について、会員の皆様のためになるように議論し、より多くの皆様に参加できるような魅力のある行事を行うように努めてまいります。特に研修旅行、研修会、支部だより、無料相談会等の各支部行事について予算と内容を検討し、今後の活動の方向性を決定してまいります。

最後に、知多支部が地域社会のため、そして会員の皆様自身のために、社会保険労務士としての使命に則した力のある組織となるよう努力していく所存です。会員の皆様の益々のご活躍を心から願い、新年の挨拶とさせていただきます。

関係団体の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月1日(日)「無料相談会」を2会場で開催！ 半田市「パワードーム半田」

12月1日(日)、今年も恒例のパワードーム半田にて無料相談を開催しました。

店舗のオープンは9時半、無料相談は、来客が少し落ち着いた10時から15時まで、年金を熟知した者、今回初参加の者などを含む6人体制で行いました。相談開始の10時台より、いきなり3人の相談者様が席を埋める事態となり、とても先手のよいスタートとなりました。結果、相談者数19人と盛況でした。

相談内容としては、例年同様、年金に関するものが多かったのですが、特に在職老齢年金のしくみについて立て続けに相談者が訪れ、「老後の生活は年金に頼らず(頼れず)」ということに多くの方が頭を悩めているのだと実感しました。

休憩時間には、私が最近頭を悩ませていた「社労士業務を継続していく上での目標設定」について中村先生にしっかり相談に乗っていただきました。

知識豊富な先生方の「相談者への接し方」や「説明の仕方」などが学べる貴重な機会でもあるので、来年もぜひ参加したいです。

棚橋美保



常滑市「イオンモール常滑」

今年の無料相談会は、前年までの東海市のアピタ荒尾店から、常滑市のイオンモールへ場所を移して行われました。

新しい場所での無料相談会で、件数の伸び悩みを懸念しておりましたが、コンスタントに計13件の相談がありました。

相談内容については、年金関係が半数以上の約6割で、来談者の多くが年金に高い関心を持っていることが伺えました。

相談者の中には事前に質問を簡条書きにされてみえる方や、相談終了時に「来てよかった、ありがとう」と感謝される方もおり、この相談会の必要性和重要性を再認識させられました。

また、この相談会を知ったきっかけとして、「市の広報で見た」、「新聞でみつけた」、「館内の案内ポスターを見て来た」等々、それぞれの媒体に出した広告などが功を奏したことから、事前の周知もやはり大切であると感じました。

この相談会を通じて、イオンのお客様の目に触れ、実際に相談を受けることにより、社会保険労務士を知ってもらえる良い機会になりました。

井上堅史



無料相談会の協力者について

令和元年12月1日実施の社会保険労務士の日無料相談会に以下の2会場で12名の方々に協力していただきました。

半田会場（パワードーム半田）

遠藤 芳之 大田 壽夫 大庭 尚志
棚橋 美保 都築 伸佳 中村 和浩

常滑会場（イオンモール常滑）

井上 堅史 齋條 昌裕 清水 裕雅
立野 勇 成瀬 英幸 深谷 恵久

（敬称略、あいうえお順）

「出前授業」事業講師の推薦について

今年度、支部推薦として、以下の9名の方々を推薦しました。

伊藤 寛 遠藤 芳之 片山 政彦
小藤 省吾 清水 裕雅 棚橋 美保
成瀬 英幸 深谷 恵久 前嶋 実枝

（敬称略、あいうえお順）

「がん患者就労支援事業」事業相談員と候補者の推薦について

今年度、支部推薦として、以下の3名の方々を推薦しました。

中島 麻緒
新美 智美
柳原 奈緒美

（敬称略、あいうえお順）

新規入会の会員紹介

令和元年7月から12月までに入会された方々です。どうぞ宜しくお願いいたします。

篠口 雅樹（しのぐち まさき）
山口 茂（やまぐち しげる）
桑島 洋平（くわじま ようへい）
内山 信吾（うちやま しんご）
間瀬 康史（ませ やすし）

《会務へのご意見の公募》**知多支部会員の皆様へ**

愛知県社会保険労務士会知多支部では、更なる会務運営に活かすため、会員の皆様から広くご意見を受け付けています。お気づきのことがございましたら、支部長又は副支部長までお気軽にお申し出ください。よろしくお願ひ申し上げます。

連絡先

支部長 伊藤 政則 (いとう労務管理事務所)

☎ 0 5 6 9 - 4 8 - 7 2 2 7 📠 0 5 6 9 - 4 8 - 5 3 2 0

✉ itoh1152@eos.ocn.ne.jp

副支部長 田中 晴英 (田中労務管理事務所)

☎ 0 5 6 9 - 3 2 - 2 6 3 9 📠 0 5 6 9 - 3 2 - 2 6 4 0

✉ tanakaroumu@gmail.com

副支部長 新美 和加子 (新美労務管理事務所)

☎ 0 5 6 9 - 2 1 - 7 6 0 0 📠 0 5 6 9 - 2 1 - 7 6 5 0

✉ niimizeimukaikei@tkcnf.or.jp

副支部長 成瀬 英幸 (ナルセ社会保険労務士事務所)

☎ 0 5 6 9 - 2 1 - 1 6 3 2 📠 0 5 6 9 - 2 1 - 1 6 2 9

✉ master@naruse-sr.jp

編集後記

みなさま、原稿依頼等でお手数をお掛けしますが、今後ともご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

総務部 佐藤 聡

令和2年1月1日 第74号

発行所 愛知県社会保険労務士会 知多支部

発行人 伊藤 政則

編集者 佐藤 聡

印刷所 いぬづか印刷 0 5 6 9 - 2 9 - 0 7 3 0